

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時:令和6年6月25日(火)

5校時:13:50~14:35(6年1組)

6校時:14:45~15:30(6年2組)

対象者:6年1組 34名、6年2組34名

場所:荒木小学校体育館

1 主題 奈良時代と奈良の大仏

2 ねらい

- ・大仏について体験的に学び、奈良時代に対する理解を深め、仏教で国を治めようとした聖武天皇について理解する。
- ・大仏づくりに込められた願いや人々の協力など、多くの人々の力で大仏が完成したことを理解する。

3 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
① 講師紹介と本時の流れを確認する。(2分)	・担任が行う ・見通しをもって本時の学習ができるように学習内容を知らせる。
② 奈良時代の出雲市内の遺跡を紹介し、遺物に触れる。(10分)	・遺物に触れる。 ・遺物の持ち方を伝える。(歴博の職員)
③ 奈良の大仏、大仏パネル体験の説明(5分) ・奈良の大仏についての説明 ・大仏の製作についての説明 ・パネル組み立ての手順についての説明	・歴博の職員が伝える。 ・手順、注意点を説明してイメージをもたせる。
④ 大仏パネルの組み立て体験(15分) ・大仏の巨大さについて体験を通して学ぶ ・パネルをパズル形式で組み立てる ・高さ18mの大仏を完成させる	・大仏パネル組み立ての際は、靴を脱ぐ。 ・児童が協力して作業をする。 ・完成後には、体育館2階ギャラリーから完成状況を確認する。 ・記念撮影を行う。
⑤ まとめ(5分) ・学習の振り返りを行う	・質問や感想、まとめを行う。
⑥ 片付け(8分)	・次の組のためにパネルをバラバラにしておく。

4 準備物

小学校:(児童)筆記用具、探検バッグ、ノート(教員)PC、プロジェクター、マイク、カメラ、長机、扇風機

博物館:大仏パネル一式、学習用教材、遺物セット、アンケート用紙